

# 俳句

萩原朔太郎

青空文庫



五月幟立つ家家の向うは海



暮鳥忌

磯濱の煙わびしき年のくれ

笹鳴

笛鳴の日かげをくぐる庭の隅

笛鳴や日脚のおそき縁の先

○

天城ごえ伊豆に入る日や遅櫻

青梅に言葉すくなき別れ哉



あをうめ  
青梅に言葉すくなき別れかな



冬日くれぬ思ひおこせや牡蠣の塚



我が心また新しく泣かんとす

冬日暮れぬ思ひ起せや岩に牡蠣

○

ブラジルに珈琲植ゑむ秋の風

枯菊や日にさめゆくいきどほり

○

プラタヌの葉は散りはてぬ靴磨き

冬さるる畠に乾ける靴の泥



虹立つや人馬にぎはふ空の上



人間に火星近づく暑さかな

秋さびし皿みなわれて納屋の隅

枯菊や日に醒めゆく憤り

虹たつや人馬にぎはふ空の上



## 『遺稿』より

我が齡すでに知命を過ぎぬ

枯菊や日日にさめゆく憤り

若き日の希望<sup>のぞみ</sup>すべて皆空しくなりぬ

秋さびし皿みな割れて納屋の隅

嗚呼すでに衰へ、わが心また新しく泣かむとす

冬日くれぬ思ひ起せや岩に牡蠣<sup>かき</sup>

故郷に歸れる日、利根の河原をひとり歩きて

磊落と河原を行けば草雲雀

わが幻想の都市は空にあり

虹立つや人馬賑ふ空の上

隠遁の情止みがたく、芭蕉を思ふこと切なり

藪蔭や蔦もからまぬ唐辛子

晩秋の日、湘南の或る侘しき海水浴場にて

コスモスや海少し見ゆる邸道

# 青空文庫情報

底本：「萩原朔太郎全集 第三卷」筑摩書房

1977（昭和52）年5月30日初版1刷発行

1986（昭和61）年12月10日補訂版1刷発行

※底本の解題によれば、この作品には、「驢馬」「句帖」などに  
挿入して発表されたものなどが収められています。

入力：kompass

校正：小林繁雄

2011年6月5日作成

2018年10月17日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 俳句

萩原朔太郎

2020年 7月13日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>